

冬の海は過酷だ。  
気温の低さに加え、  
風が吹けば体感温度はさらに下がる。  
冬場に荒れることで知られる日本近海では、  
波しぶきを浴びることもあるだろう。  
常に寒さを感じているようでは、  
いざというときに体が動かず、判断力も鈍る。  
正しい重ね着の知識と、  
最新の防寒ウェアで、  
冬の海を楽しく、安全に過ごそう。

構成=編集部 写真=宮崎克彦(本誌)  
text by KAZI, photos by Katsuhiko Miyazaki (KAZI)  
(掲載製品の問い合わせ先はすべて31ページ)

あったか装備で冬を乗り切れ!

[特集]

# 真冬の 重ね着考

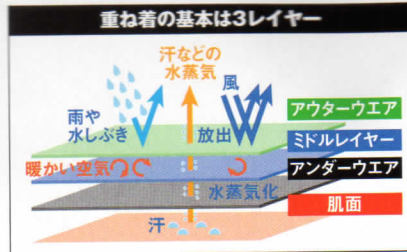
# 防水性能が 求められる アウトウエア

OUTERWEAR

## 基本は、3枚の重ね着

低い気温のほか、波や風、水しぶきといった厳しい条件にさらされる、冬の海。海上で常に寒さを感じていれば、もちろん快適ではないし、判断力が低下すれば事故にもつながる。まず最初に、一般的な海での着こなしについて考えてみよう。

現在、多くのマリンウエアブランドやアウトドアウエアブランドが提唱しているのが、「3レイヤーシステム」。レイヤー(layer)とは「層」や「重なり」を意味する言葉で、3枚の機能の異なるウエアを重ね着することにより、寒さを防ぐ方法だ。いちばん外側に着用するのが「アウトウエア」で、一般的には、カッパやセーリングジャケットと呼ばれる。このアウトウエアに求められるのが、外部からの雨や水しぶき、風をシャットアウトする性能。その内側に着るのは、「ミドルレイヤー」と呼ばれる中間着。一般的には暖かい空気を保つ、保温性能が求められる。いちばん内側に着用する肌着は「アンダーウエア」。ベースレイヤー、インナーウエアとも呼ばれ、汗などの水分をすばやく吸い上げ、肌をドライな状態に保つ性能が求められる。



こうした着こなしは、町中での防寒着とはちょっと違う考え方をする必要があります。それぞれの役割について、もう少し詳しく見ていこう。

## アウター選びのキーワードは、防水、防風、透湿

厳寒の冬の海に直接さらされるアウターウエアに求められる性能は数多い。雨や水しぶきの外部からの浸入を防ぐ「防水性能」と「撥水性能」、風をシャットアウトする「防風性能」、デッキ上での使用状況を考えれば、「耐久性」も欲しいところだ。こうしたウエアを着用していれば、ちょっとし



### CHECK 01 スプレーフード



首回りに収納されているスプレーフード。着用してみて、十分に水しぶきをシャットアウトしてくれるか、ゴムやひもで調節する具もチェック

### CHECK 02 リフレクター



夜間の落水時など緊急のときに、発見されやすくなるためのリフレクター(反射板)。外洋航海や夜間航行するときには備えておきたい

### ヘリーハンセン・レーシングジャケット

ナイロンにコーティングなどの特殊加工を施した防水透湿素材「ヘリーテックXP」を使用したヘリーハンセンのスタンダードモデル。レーシングウエアのノウハウを投入し、軽く動きやすい仕様になっている。サイズ:S~XL。4色あり。価格:29,400円。問い合わせ:A

### CHECK 03 ポケットの数と機能



ポケットの数や使い勝手、機能は重要なチェックポイント。写真のポケットは上部が二重で折り返す仕様で、防水性を高めている

### CHECK 04 ハンドウォーマー機能



ポケットの内側が起毛素材になっていて、寒いときに手を温めてくれる

## プーマ・インショアジャケット

ボルボ世界一周レース挑戦を機にセーリングウエアのカテゴリーに参入したプーマ。インショアジャケットは軽さを追求したインショアレース仕様。サイズ：XS～L。3色あり。価格：39,900円。問い合わせ：B

CHECK

02

### 袖口の処理

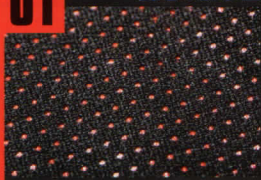


首と並んで水が浸入しやすい袖口。写真ではベルクロで二重に絞れるようになっている

CHECK

01

### 裏地の排水性



首回りなどから水が浸入した場合に排水しやすいよう、また着心地を向上させるため、裏地はメッシュ加工されているアウターが多い

CHECK

03

### 止水ファスナー



一部のポケットに写真のような止水ファスナーを採用している場合がある。濡れては困るものを入れておくのに便利

CHECK

04

### ファスナーカバー



ファスナーの最上部、首に当たる部分が布地で保護されている。あるのとないとでは、快適さに大きな差が出てくる



## ヘンリーロイド・TP1ミラーズジャケット

アメリカスカップ挑戦チームへの製品供給など、世界的に知られるマリンウエアブランド、ヘンリーロイドのベーシックモデル。より上級のモデルとしてTP2シリーズや、ゴアテックスを採用したシリーズがある。サイズ：S～XL。4色あり。価格：39,900円。問い合わせ：G



## カンターロ・PLTジャケット

コアなレーサー向け国産ブランド、カンターロの超軽量モデル。ストレッチ性のあるゴアテックス素材を採用し、軽さ、薄さ、動きやすさを追求したモデルとなっている。サイズ：XS～XL。価格：29,900円。問い合わせ：H



## ブルーフィン・レースジャケット

もともとはアメリカのフィッシングギアで知られるブルーフィンが、イタリアのスラム社の技術協力を得てリリースしたマリンウエア。世界的ヨットレーサー、ラッセル・クーツが製品テストに参加している。サイズ：S～XXL。価格：31,500円。問い合わせ：D

た運動や気温上昇でも汗をかく。内側に水分をため込んでおくと、冷たさを感じる原因となるので、水分を放出する「透湿性能」も必要となる。10年以上前、透湿性能を持たないゴム素材のカップが一般的だった時代に、汗をかいて、内側に着ていた

ウエアがビショリ濡れてしまった経験がある人もいるはずだ。

写真で紹介している各社の最新アウターウエアの多くは、ナイロンやポリエステル生地、織り方の工夫や表面加工、縫い目のテーピング加工を施し、防水、透湿

性能を獲得している。

注目すべきは、各社とも「保温性能」はうたっていないことだ。つまり、マリン専用のアウターウエアは、防水や透湿といった機能に特化したもので、保温については、ミドルレイヤーやアンダーウエアが担当する

CHECK

01

### 素材と防水処理



防水透湿素材のグレードをチェック。価格、使用状況を考えて選ぶ

CHECK

02

### 襟の高さ



襟には、使用する状況によって適した高さがある。荒天の中を走らず濡れになって走らなければならない場合は、写真のような、顔がほとんど隠れる襟の高さになる。動きやすさとの兼ね合いで選ぶ

## ムストー・HPX オーシャンジャケット

外洋レースで多くの実績のあるムストー社の上級モデル。ゴアテックス・プロシェルを採用したこのモデルは、ボルボ世界一周レースなどで使用されたヘビーデューティー仕様。サイズ:XS~XXL。価格:96,600円。問い合わせ:C

CHECK

03

### ドロコード



裾や腰部分を絞ることができるドロコード。裾は絞れるものが多いが、腰部分が絞れるタイプは少数派

CHECK

04

### ポケットの排水孔



ポケットの底に排水のための穴が開いていたなら、それは海専用ウエアの証しだ



### ギル・OS2ジャケット

英国ギル社の代名詞ともいえる防水ジャケット。外洋セーリングまでをカバーする。ギル社は、各国のオリンピック代表チームや、アメリカズカップ、ボルボ世界一周レースの参加チームにウエアを供給してきた実績を持つ。サイズ:XS~XL。4色あり。価格:42,000円。問い合わせ:F



### セイルレーシング・フラッドジャケット

スウェーデンのセイルレーシングは、従来のマリンウエアとは一線を画するデザイン性と機能性を両立させた、近年人気急上昇中のブランド。写真のフラッドジャケットは、ゴアテックスとスイス製耐水ジッパーを採用したオールラウンドモデルで、より本格的なオルカジャケットもある。サイズ:XS~XL。2色あり。価格:65,100円。問い合わせ:I



### パーク・CB10ブリーザブルパシフィックジャケット

オーストラリアのパーク社は、本格的な外洋仕様CB20シリーズと、インショアセーリング、ショートクルージング用のCB10シリーズをラインナップ。同社独自のマイクロ穴コーティングによって、防水性と通気性を両立させている。サイズ:S~XL。価格:28,350円。問い合わせ:E

ということになる。

町中での冬の防寒着といえば、羽毛の入ったダウンジャケットが人気だが、ダウンジャケットの機能は保温がメインとなっていて、マリン専用のアウターとは根本的に目指すところが違う。防水性能を持たないダ

ウンジャケットは、水を含んでしまうと乾きにくく、マリンウエアとしてはあまり適していないといえる。

## 最強素材、ゴアテックス

防水、透湿素材として、よく知られている

ものに「ゴアテックス」があり、マリンウエアブランド各社でもアウターウエアの上位モデルに多く採用されている。

ゴアテックス生地(ゴアテックス・ファブリクス)は、メンブレンと呼ばれる薄く強いフィルム状の素材を表生地と裏生地です



**ザイク・  
アイソタックジャケット801**

ディンギーレーサーに多くの愛用者がいるオーストラリアのザイクが、アウター素材として採用したのが、日本の東レが開発した防水透湿モノフィルム、アイソタック。他メーカーの多くが採用する「微多孔膜」による防水透湿性能に対し、「無孔膜」という、まったく新しいコンセプトで挑んでいる。サイズ:XS~XXXL。価格:49,900円。問い合わせ:K



**エクセム・  
オフショアジャケット**

イギリス生まれのエクセムは、セーリングウエアに必要な特徴をほぼすべて備えながら、コストパフォーマンスに優れたウエアを開発している。オーシャン、オフショア、コースタルの3グレードがあり、写真はオフショアモデル。サイズ:XS~XL。2色あり。価格:25,200円。問い合わせ:J



**ザイク・アイソタックサロペット801**



肩の部分まで一体型の動きやすさを追求したモデル。膝や尻の部分が厚手のナイロンで補強され、裾の部分はきつく絞ることができる。サイズ:XS~XXXL。価格:44,900円。問い合わせ:K

イチした構造となっており、そのフィルムには微細な穴が無数に開いている。その穴が、水滴よりもはるかに小さく、かつ水蒸気が通り抜けるのに十分な大きさを持っているため、防水と透湿の性能を両立させている。

現在、マリンウエアや登山ウエアの世界で、最高性能の名を欲しままにしているゴアテックス素材だが、その複雑な構造から、製品の値段が高くなってしまいうのも事実。使用条件、予算と相談して選びたい。

**使わなくても  
カップは劣化する!**

使っているうちに、アウターウエアは劣化してくる、というのは周知の事実。まず、何度も使用するうちに表面に施された撥水加工の効果がなくなってくる。アウター生地の上に水玉ができなくなり、濡れると変色したように見える段階だが、この時点ではまだ防水性能は失われていない。撥水効果は、市販の防水スプレーなどで復活させることもできる。

次に、デッキとの摩擦で、生地そのものが薄くなったり、縫い目がほつれて水が浸入するようになってくる。裏地の縫い目に施された防水テーピングの剥がれにも要注意だ。

注意すべきは、使わなくてもアウターウエアは劣化するという。アウターの裏

地に多く使われているポリウレタン素材は、年を経るごとに加水分解を起こし、次第に硬くパリパリの状態となって剥がれ落ちてしまう。この現象は、海で濡れることがなくても、空気中の湿気によって進行する。輪ゴムが、未使用でも何年も経てばひび割れて使いものにならなくなってしまうことを考えれば、分かりやすいかもしれない。つまり、防水アウターウエアは、新品でも放っておけば効果が失われていくということだ。メーカーによると、防水アウターウエアの寿命は、3~5年とのことである。

とはいえ、防水アウターは安い買い物ではないので、できれば長持ちさせたいところ。長持ちさせるコツとしては、使用後は洗濯機にはかけずに、風呂場などで手洗いし、湿度の低い、天気の良い日に、時間をかけて陰干しすること。できれば、ハンガーなどに吊るさずに、平置きした状態のほうがベター。洗濯機にかけないのは、素材の問題ではなく、裏地の防水テーピングを長持ちさせるため。失われた撥水機能を復活させる裏技としては、アウター表面を温める方法がある。ドライヤーの温風や、当て布をした状態で低温アイロンをかけることにより、生地表面の微細な突起である「撥水基」を再び立たせることができ、ある程度、性能を復活させることができる。



**エクセム・オフショアトラウザーズ**



最もスタンダードなタイプの海用トラウザーズ。胸部までを覆うタイプだが、ファスナーが下半身まで延び、着脱は容易。ウエスト部分が伸縮して体にフィットする。サイズ:XS~XL。2色あり。価格:22,050円。問い合わせ:J

真冬の重ね着考

# 汗を吸って、 放出する高い技術 アンダーウェア

UNDERWEAR



## ヘリーハンセン・ フリーズ1/2ジップタートル

素材:ウール56%、ポリプロピレン44%



肌面には、水を吸わず空気をためる中空ポリプロピレンを使用し、表面のウール地に汗を渡し、濡れ戻りを抑えている。表面のウール地は、ハイテック素材のスーパーファインメリノウールを使用。サイズ:XS~XL。2色あり。価格:8,925円。問い合わせ:A



## ファイントラック・ メリノスピンサーモジップネック

素材:ポリエステル86%、ウール14%



ウールを肌面に使い、肌触りと吸汗性を上げ、表面には磨耗強度に優れた化学繊維を使用。2枚の布の間に空気層を作り、保温性もアップさせている。UVカット機能も搭載しているので単体使用も安心。S~XL。2色。価格:9,975円。問い合わせ:L

## ウール素材 再評価

肌に直接触れるアンダーウェアに、求められるテクノロジーとはいったいなんだろう。それは吸湿性と放湿性、排水性、そして保温性だ。

簡単に言えば、汗をすぐに吸い上げて、なおかつ速乾性にすぐれ、発汗後の濡れ戻りなんて全然ない、というわがままさが求められるのだ。これに応えるべく、化学繊維と縫製技術は進化してきた。

昨今の冬用アンダーウェアを各社比較し、まず気づくのは、素材にウールを混紡している商品が多いということ。夏用アンダーウェアは化学繊維のみで形成され、吸放湿性に特化しているが、冬用は保温性も付加しなければならぬ。大昔、ウールのセーターは防寒ウェアの主流であった。その後、化学繊維の発達により、ウール素材はマリンシーンから姿を消していたが、近年着実に復活してきているのだ。メリノ種の羊から取れる極細ウールであるメリノ

ウールをポリエステルやポリプロピレンなどに混紡したハイテック繊維が開発され、肌ざわりが改善されたことで、冬物のアンダーウェアシーンは、一気にウールブームとなっている。保温性が高く、繊維自体が呼吸するウールの特性があらためて見直されたというわけだ。

## 服の下の技術戦争

ウールの使用法は各社さまざま。ヘリーハンセンのアンダーウェアでは、素材の放湿性を生かしてメリノウールを表面(外側)に使用し、ファイントラックでは逆に吸湿性を生かし肌面に使用している。もちろんひとことでメリノウールといっても、各社独自の編み方で特性を引き出しており、それぞれの考え方に基づいた使用箇所を選択しているのは言うまでもない。

ウールなどの天然毛を使用していないのが、ギルとカンターロの製品になる。それぞれ、編み方を工夫し、肌面をよりドライに保

つ技術が詰め込まれている。

近年話題の発熱性などを持ったウェア素材は、排水性や速乾性の面から、ずぶ濡れになる可能性があるマリンシーンには、まだ向かないようだ。

## シーンに合った素材選び

とにかく肌面をドライに保つことが、体表面の保温にもつながる。実際ヨットの上では、真冬でもレースなどをして少し動けば、汗をかくほど、体温は上昇する。怖いのは、運動後、汗を含んだ衣類からの濡れ戻りによる体温の低下だ。その点、ポリエステルやポリプロピレンなどの化学繊維は、湿気だけを通して水滴を戻さない特性により、レースなど激しく動くシーンで活躍するだろう。逆に、汗をあまりかかないクルージングスタイルならば、暖かい空気をより多くため込むことができるウール素材が多いほうがいい。それぞれのスタイルに合った、ベストなアンダーウェアを見つけてみよう。



### セイルレーシング・ オルカ アンダーウエアシャツ

素材: ポリエステル95%、ウール5%



ポリエステルにウールを混紡した生地を使い、肌に当たる部分をより平らに保ち、着心地と強度をアップ。伸縮性と耐磨耗性に優れた特殊生地は、激しい動きにも対応してくれる。ウールの採用は殺菌効果のためでもある。サイズ: S~XL。価格: 15,750円。問い合わせ: I



### ギル・ i2テック ロングスリーブTee

素材: ポリエステル100%



ポーラテック素材を、ニット状に編んだポーラテックパワードライを使用。洗濯機でもへたれない耐磨耗性と、速乾性と保温性が高いことでも有名だ。袖口には親指を通す穴があり、手の甲までガードが可能。サイズ: XS~XL。2色あり。価格: 10,800円。問い合わせ: F



### カンターロ・ G-ラッシュフォース アンダーウェア

素材: ナイロン95%、ポリエステル5%



素材の特性よりも、複雑で立体的な編み方によって動きやすさと快適さを追求している。脇は、より通気性の高い編み方、胸など体幹を覆う部分は保温性と吸汗性を高めたホールメッシュ編みとなっている。サイズ: S-M、L-XL。価格: 7,800円。問い合わせ先: H



### 新発想! アンダーウェアの下に着る アンダーウェアって?

ファイントラックでは、アンダーウェアの下に、さらにもう一枚着るアンダーウェアを提案。ポリエステル95%、ポリウレタン5%の化学繊維構造で、毛細管現象によりとにかく汗を吸い取ることに特化している。アンダーウェアがウールを多く含む素材の場合や、ウエットスーツの下など、用途は多いかもしれない。ただ、アンダーの下にアンダーって、なんて呼んだらいいのちよっと悩む。

ファイントラック・フラッドラッシュ アクティブスキン  
サイズ: S~XL。価格: 5,250円。問い合わせ: L

## ヘリーハンセン鎌倉店に突撃! 本誌読者に オススの着こなしは?



【男性】アンダー: アイスクルー (HY98812) 7,825円 / ミドル: クールフリースジャケット (HE50600) 12,600円 / アウター: オーシャンジャケット (HH19501) 50,400円 / 帽子: ビーニー (HY90614) 3,990円

【女性】ミドル: クールフリースジャケット (HE50600) 12,600円 / アウター: エベネスフーデッドジャケット (HE10500) 19,740円 / 首: フリースネックウォーマー (HY90801) 4,410円 / 帽子: ビーニー (HY90608) 3,675円

本特集の取材で、いろいろ貴重なお話を聞かせてもらったのが、2010年夏にオープンしたばかりの「ザ・ノース・フェイス ヘリーハンセン 鎌倉店」。スタッフにちょっとわがままを言って、本誌読者にオススの重ね着をコーディネートしてもらった。編集部からのリクエストは、「季節は1月、50代男性と40代女性の2人でショートクルージング」。副店長の斉木孝文さんをはじめ3人のスタッフが寄ってたかって、「中年男性がビシッと赤を着こなしたら絶対にカッコイイですよ、ウンウン……」などと奮闘すること30分、完成したのが上のマネキン2体なのであった。



左: 営業中にもかかわらず、本誌のためにあれやこれや思案を巡らせてくれるスタッフのみなさん  
右: いろいろ質問に答えてもらった、副店長の斉木孝文さん

THE NORTH FACE  
HELLY HANSEN 鎌倉店  
神奈川県鎌倉市小町1-9-4 TEL: 0467-61-3811

鎌倉店には本格的なシーギアがたくさんそろってますよ

真冬の重ね着考

# 保温か防風か、 多岐にわたるその役割

# ミドルレイヤー

MIDDLE LAYER

## 組み合わせによって変化する ミドルレイヤーの役割

アウターウェアのおもな役割は防水、防風性能であり、アンダーウェアは汗などの水分を放出した肌面をドライに保つ、あるいは保温の役割を果たす。それでは、その中間着となるミドルレイヤーに必要な機能とは何だろう。各社がミドルレイヤーとして提案している製品を見ると、その系統は大きく分けて二つ。一つは、防風などアウターの果たすべき役割をさらに強化すべく、防風に特化したタイプ。もう一つは、防風や防水はアウターにまかせて、アウターとアンダーの中間で暖かい空気をため込むことに特化した、保温重視のタイプだ。もちろん、タイプにかかわらず、汗などの水分を外部に放出する透湿性も兼ね備えていけばベターだ。

### フリースは万能選手？

保温重視タイプのミドルレイヤーの代表は、フリースなどの起毛素材だ。その厚さの中に暖かい空気をため込み、濡れた場合にも水分を含みにくい。ひと言でフリースといっても、生地目の詰まり具合によって、少し特徴に差がある。低密度のざっくりしたものは、暖かい空気をより多くため込むことができ、高密度のものは防風性に優れている。とはいえ、アウターなどの防風

オールインワンタイプ

素材に比べれば格段に風を通しやすく、冷たい風の吹く日は、防風性を持ったアウターとのセットで着用したい。

### 風を遮るミドルレイヤー

フリースと対極のコンセプトを持つのが、防風タイプ。このページではカンター口の製品がそれにあたる。ゴアテックス社の「ウインドSTOPPER」という素材を採用し、薄手ながら風を通さない。フリースほどの暖かさは期待できないが、その軽さと薄さで、レースなど激しい動きが必要な場面で威力を発揮するはずだ。ヘンリーロイドの製品は、保温と防風の両方を目指した欲張りなタイプで、そのままアウターとしても使えるが、その機能性ゆえ価格も高くなってしまふのも事実。自分の持っているウェアとの組み合わせを考えて、適切なミドルレイヤーを選ぼう。



高機能タイプ

### ファイントラック・ ドラウトクロージャケット

アンダーウェアの上に着る、さらに高性能なアンダーウェアという感じ。保温性に優れながらも、表面、裏面ともに起毛加工はせず、より高い吸放湿性を持たせている。サイズ:S~XL。3色。価格:14,280円。問い合わせ先:L

### ヘンリーロイド・ OCT ANE ウインドSTOPPER JKT

もはやミドルレイヤーには見えない、薄手のアウターのような風貌。表面にはウインドSTOPPERを使用し、両脇にはハンドウォーマー、ポケットには止水ファスナーと多機能で、値段もアウター並み。サイズ:XS~XL。価格:39,900円。問い合わせ先:G



ゴアテックス社のウインドSTOPPERを使用。防風性と透湿性に優れる素材だ



ポケットには止水ファスナーを完備



裾にはドロークordまで装備されている





保温特化  
タイプ

### ヘリーハンセン・PPフリースジャケット

フリースジャケットは裏面のポリプロピレンでドライ感を保ち、表面のポリエステルで保温する構造だ。サイズ:S~XL。2色。価格:9,240円。問い合わせ先:A



保温特化  
タイプ

### ムストー・エクストリームベースレイヤー タートルネック

ポリエステル100%のフリース、ポーラテックを使用。フリースとしてはやや薄手なので、アンダーウェアとしても使用でき、春先のアウターにもなる。サイズ:S~XL。価格:10,080円。問い合わせ先:C



防風特化  
タイプ

### カンターロ・ウインドストッパーインナーウェア

防風性に特化したミドルレイヤー。その目的は動きやすく、ペラペラなのに暖かく、風を通さず湿気は逃がす。レースに特化した考え方といえる。サイズ:S~4L。価格:8,400円。問い合わせ先:H

## 一度履いたらやめられない!? マリン専用ブーツ



### 高性能ブーツが一気に普及

従来のマリンブーツといえば、防水重視のゴム製で、いわゆる長靴を少し改良したようなタイプが主流だったのだが、最近では、3万円を超えるような高性能・高価格ブーツが増えてきている。以前はなかった考えとして、ブーツにも前述のゴアテックスのような高性能の防水透湿素材を採用することで、ゴム製でなくても完璧な防水性能が得られるようになったのだ。このことで、素材の自由度が生まれ、軽量化に成功、デザインの幅も広がった。また、濡れない、蒸れないことを前提とできるため、内張りにクッション製のある布地を採用することができ、暖かさも向上した。当初は、「いくらなんでもブーツに何万円も……」というムードも確かにあったのだが、その後、高級ブーツは人気を呼び、いまやすっかり市民権を得ているようだ。一度履いたらやめられない……そんな言葉をよく聞くのも、高級ブーツが価格相応の価値があるという証明なのかもしれない。

一方、ゴム素材のブーツも健在。ソールパターンの変更や軽量化など、地道な進歩を続けている。価格も1万円前後と、コスト面でのメリットは大きい。デッキ上で、あまり汗をかかないような使用状況であれば、十分な性能を発揮してくれるはずだ。

#### 掲載製品に関する問い合わせ先

- A: ゴールドウィン カスタマーサービスセンター TEL: 0120-307-560 <http://www.goldwin.co.jp/hellyhansen/>
- B: プーマお客様サービス TEL: 0120-125-150 <http://www.puma.jp/sailing/>
- C: パフォーマンス セイルクラブ ジャパン TEL: 0467-76-1051 <http://www.psjpn.co.jp/musto.html>
- D: テクノマーレインターナショナル TEL: 048-878-6806
- E: ダウンアンダーセーリングジャパン TEL: 046-857-7966 <http://www.downundersailing.com/>
- F: フォーチュン TEL: 06-6445-2300 <http://www.gill.jp/>
- G: 一点鐘 TEL: 0798-26-3114 <http://www.henrilloyd.jp/> <http://www.the-deck.jp/>
- H: J.F.P. TEL: 046-876-4811 <http://www.kanta-ro.com/>
- I: エイチプラス TEL: 0120-724-764 <http://www.sailracing.jp/>
- J: カズ・マリンプロダクツ TEL: 046-268-4101 <http://www.kazmarine.co.jp/>
- K: SAILFAST TEL: 046-876-2889 <http://www.sailfast.jp/>
- L: ファイントラック TEL: 0120-080-375 <http://www.finetrack.com/>

#### 01 ヘリーハンセン・ヘリーウェリー



セーリングジャケットなどにも使用されるヘリーハンセン独自の防水透湿素材、ヘリーテックXPを採用。価格:29,400円。問い合わせ:A



上:デッキに跡を残さない白いラバーソールには、細かなパターンが施される/下:表地には、激しい動きを妨げないネオプレン素材を採用

#### 02 デュバリー・ストレッチシャムロック

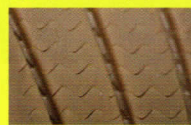


濡れと乾きを繰り返しても硬化しにくい特殊なレザート、高強度のコーデュラナイロンを表地に採用。価格:39,900円。問い合わせ:G



上:F1のレインタイヤのパターンからヒントを得たソールパターンを採用/下:表地と裏地の間にはゴアテックスが採用され、防水透湿性能を得ている

#### 03 プーマ・ラフ



ボルボ世界一周レースのクルーたちも着用したレース仕様のブーツ。ブーツとしては珍しく、赤、白、黒、グレーなどの多色展開。価格:52,500円。問い合わせ:B



上:表地には柔らかい天然皮革を採用/下:ゴアテックスの採用によって防水透湿性能を確保。裏地には起毛素材

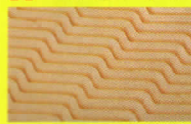
#### 04 ギル・トールヨットングブーツ



天然ゴム製のブーツで、裏地には乾燥しやすいポリエステル生地を採用。膝下部分をひもで絞れるのが特徴。価格:12,800円。問い合わせ:F

ソールには、マリン専用開発した波形パターンを採用

#### 05 エクセム・クルージングブーツ



最もスタンダードなタイプのゴム製マリンブーツ。つま先、かかと、足首の各部が二重に補強されている。価格10,080円。問い合わせ:J

ソールには、独自の波形パターンを採用している